

解答を解き明かす人 (創13:14-15)

神様は2019年の一年間、私たちを世の光として遣わしてくださり、現場の灯台としての答えを用意して導いてくださいます。疑わずに、躊躇せず、答えにあずかる資格があるので、信じて、期待しつつ2019年を歩みましょう。

神様はなぜ私たちを現場の灯台として、答えを用意してくださっているのでしょうか。それは、世の中の現場の人々は、創世記3:16-20のアダムから始まった問題の中にいまいるからです。この問題は、これから続きます。それまで苦しみが続かなかったのに、あらゆる面で苦しむようになりました(16)。男女の間、人間関係が平等ではなく、苦しみとなり束縛され、家庭問題にも発展します。土地も呪われ(18)、生きるために苦勞するようになりました。もともとは違ったのに、生きるために熱心にならなければならない、自然が敵対するようになり、災害やわざわいをもたらします。そして、土に帰る(19)死ぬ運命を抱えています。この問題が、表に出ると家庭崩壊、経済的な苦しみ、トラブル、病気になり、人には見せないのですが、それぞれ隠している問題を持つようになります。このように世の中は、数えきれない問題を抱えています。

より大きな問題は、**現場の人々が本当の問題がなにかわかっていない**ことです。根本にある問題は、だれも教えることはできない、聖書にだけある問題です。それは、神様に罪を犯して、神様を離れたことであり、その結果、サタンの手にとられて人生を生きることです。これを霊的問題と言います。これは、だれもわからないので、その答えもわからず、人々は一生さまよって生きるし

かありません。終わらない勘違いの中、まちがっている答えを求めます。その代表が宗教、占い、偶像崇拜です。また、だれかのせい、なにかのせいにする病気にとられ、わだかまり、傷による感情に支配されます。

このような**本当の問題の答えは、蛇の頭を踏み砕く女の子孫**です。蛇(サタン)の頭を踏み砕き、罪をあがなって身代りに死に、まことの神様に出会うこと、それがキリストであり、それこそが正解です。この答えを理解するなら、この解答を解き明かすことができるのは、信者しかいないとわかります。政治家、教師、医者もできません。これに対して、ゆるぎないプライドを持ってスタートしましょう。現場の本当の問題を分かり、自分が現場に存在する意義を確認しましょう。「私は人生の正解をもち、解き明かす者として現場に遣わされている」と、どんなときでも、どんな現場でも、この意識を持つようにしましょう。

正解を解き明かすために遣わされているので、灯台の祝福が用意されています。この祝福をすでに用意しておられるので、古い枠を捨てて、**現場の灯台としての新しい枠を備えましょう**。自分しかいないという意識をしっかりと持って、まず第一に**現場で感謝**しましょう。現場は勘違いしてさまよっています。その中で、神様の恵みによって、なにが本当の問題なのか、人生の答えはなにかをわかったこと、光が臨んでいることを感謝しましょう。そして、その**光を自分の中で味わい**ましょう。答えが分かっているのに、答えがある者として味



正解は
キリスト

わうことが祝福なのです。

どのように味わうかという、過去は、ちがうことを考えてさまよっていたことを認めましょう。なにかのせいではなく、神様を離れ、キリストが分からなかったからで、苦しみとつらさによってキリストにたどりつくことができた、キリストによってさまよいに終止符を打ちましょう。暗いことはすべて終わっていますが、無意識に心に傷がありますが、それをすべてふり払いましょう。過去に対しては、すべて本当の問題がわからなかったこと、キリストが正解だと味わうようにしましょう。

今の問題に対しては、神様の祝福をより豊かに味わう材料としましょう。キリストによって、もうサタンに操られることはなく、サタンがひざまづく者になっていることを証明する材料になります。そして、人を生かすプロセスであり、材料となります。キリ

ストの正解が分かるなら、なにもおそれず、なにも問題にせず、なにも引つかかることはありません。これが味わうことです。このように味わうことを、なにかをする前に、まずするようにしましょう。

そして、1つのことを期待しましょう。現場の人々が、悩みを打ち明け、本当の答えを求めて自分のほうにやって来て、私が味わっているキリストを正解として解き明かす場面を期待して、毎日、描いてイメージしましょう。それが祈りです。このように目に見えないことを信仰によって自分の頭でイメージするのです。**現場の灯台として実現していることをイメージ**しましょう。

このように現場で正解を持っている者として、味わう者、解き明かす者の確信をもって今週、今年一年、一生、現場に向かうように祈ります。
(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

創世記3:14-15 解答を解き明かす人

なるほど/現場の人々は、表面化している問題や隠している問題などで問題に苦しんでいるものの、本当の問題が何か知らない故、勘違いとさまよいが終わらない。そのような現場に、唯一本当の問題を知り真の答えを知っている人は信者だけなので、信者は現場の灯台として立たされている。ならば/信者なら外見と関係なく、解答を持つ者、解答を味わう者、解答を解き明かす者として感謝と共に期待をもって現場に立とう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年1月6日)

1部礼拝： 枠を壊したアブラハム (創12:1-3)

わざわいを受けるしかないカルデヤから離れるように私を選び、みことば通りに成り立つ答えの人として召されたことに感謝します。いま私に起きている問題が当然来るべきものが来たことを知って、正確な答えを見て、私の霊的狀態を整えますように。いま起きる問題は、神様の祝福を成し遂げる必然的な過程であることを知って、すばらしい祝福の道を進みますように。神様がくださる絶対的な答え、私によってすべての民族が祝福を受ける世界福音化の祝福が、今日、まさにいま始まりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝： 状態を変えたアブラハム (創13:14-18)

問題と危機が続くとき、方法、事柄、人、条件を変えるのではなく、私の状態を変えるようにしてください感謝します。神様と私だけが知る不信仰を完全に捨てて、信仰に変える決断をしますように。神様の契約を握って、まことに今日、いま、味わいますように。祭壇を築く決断で、先に霊的な祝福、霊的な力を味わい、霊的サミットの状態に行きますように。礼拝と一人でする祈り、ともにする祈りの中で、時代を見るみことば、現場を見る目、生かすみことばが現れますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。